

中城村

ぎかいだより

もつと

知ろう

みんなの議会

題字：中城中三年 下村 希識



写真：中城村北中城村両青年会による東日本大震災支援イベント
津覇青年会エイサー・獅子舞・久場青年会エイサー
護佐丸太鼓・熱田青年会エイサー・喜舎場青年会エイサー
仲順青年会エイサー・島袋青年会エイサー（順不同）が参加

第27号

平成23年 3月議会

予 平成23年度 算

一般会計：65億3,022万円 } 総額：101億4,415万円
 特別会計：36億1,393万円 }



一般会計

総 額：65億3,022万6千円
 前年度比：125% 13億522万6千円の増

増えた主な要因は南上原小学校（仮称）の建設事業費



国民健康保険特別会計

補正額：23億2,000万円
 前年度比：107.01% 1億5,198万8千円の増
 安心して医療を受けるために



後期高齢者医療特別会計

補正額：1億84万7千円
 前年度比：100.57% 57万2千円の増
 75歳以上のお年寄りのために



土地区画整理事業特別会計

補正額：3億30万3千円
 前年度比：99.99% 1万4千円の減
 中城村の利便性を上げるために



公共下水道事業特別会計

補正額：3億4,726万1千円
 前年度比：101.44% 494万1千円の増



水道事業会計

補正額：5億4,551万5千円
 前年度比：102.11% 1,129万8千円の増
 安全な水を供給するために

平成22年度 補正予算



一般会計補正(第4号)

補正額：9,210万2千円を追加
 総額：58億5,944万1千円



国民健康保険特別会計(第3号)

補正額：3,030万円を追加
 総額：22億692万円



老人保健特別会計(第2号)

補正額：16万6千円を追加
 総額：35万5千円



土地区画整理事業特別会計(第3号)

繰越明許費：7,799万円

翌年度に繰り越して使用することが出来る経費



公共下水道事業特別会計(第3号)

補正額：55万3千円を減額
 総額：3億3,951万9千円



一般会計補正(第5号)

債務負担行為の変更により

補正前：1,200万円
 補正後：600万円

平成
23年度

第1回定例会上程一覧～中城村議会で決めたこと～

議案第1号
可決課設置条例の一部を改正する条例
企業立地・観光推進室から
『企業立地・観光推進課』へ名称の変更議案第2号
可決附属機関に関する条例の一部を改正する条例
中城村就学指導委員会、教育事務点検評価に
関する学識経験者委員会の設置議案第3号
可決特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例
嘱託委員会委員の報酬及び費用弁償の改正議案第4号
可決墓地等の経営の許可等に関する条例
墓地等の経営許可等に関する
事務が県から村に移譲議案第5号
可決都市公園条例の一部を改正する条例
公共施設使用料の改正
「陸上競技場」から『ごさまる陸上競技場』へ名称変更等議案第6号
可決農村環境改善センター（吉の浦会館）の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例
吉の浦会館使用料の改正議案第7号
可決村民体育館の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例
村民体育館使用料の改正議案第19号
可決吉の浦公園陸上競技場改修工事改定契約
契約¥6,449,100円の増額同意1号
可決教育委員会委員の任命
仲松敏成氏を任命諮問1～3号
可決人権擁護委員の推薦につき意見を求めること
村吉則雄・新垣博正・中村美津江氏を任命

第2回臨時会上程一覧

平成23年5月9日 開会

議案第20号
可決中城村浜漁港浮棧橋及び
第1波除堤工事請負契約意見書第1号
可決ケビン・メア米国務省日本部長の
沖縄県を愚弄した発言に対する意見書議案第1号
可決

中城村議会委員会条例の一部を改正する条例

意見書第2号
可決拡大生産者責任（EPR）と
デポジット制度の法制化を求める意見書承認1～4号
可決専決処分の承認を求めること
出産・育児等に係る経済的負担の軽減。
保険税の改正。村税の改正。改定契約意見書第3～4号
可決日米地位協定の抜本的な改正を求める意見書
嘉手納基地及び普天間飛行場における訓練激化
騒音激増外来機飛来に関する意見書

一般質問

平成二三年
三月定例議会



保育園問題

金城 議員

議員 保育所の民営化、認可園等について今後の動向はどうなるか。

村長 今年度は第三保育所の民営化していきたい、私の理想とは、公立保育所と認可保育所、民間の認可保育所とのサービス向上についての競い合いで、公も民もお互いが共存共栄できるものと信じております。

議員 保育所は村営と民営化のどこが違うか、そ

れと吉の浦保育所は公立として残す予定か。

村長 基本的には公と民は違いません。公務員が民間の認可保育園に変わるから、我々が委託といいますが、多少は法律の整備が出来ますけど、基本的な部分は同じです。それと公でしかできない部分はまだまだあります。

公立保育所も必要だと思っております。公立保育所は今のところは民との兼ね合いで残していきたいと思っております。

排水路氾濫

議員 去る二月四日安里公民館前の排水路の氾濫により住宅に被害がありました。今後の村当局の対策はどうするのか。

都市建設課長 安里公民館前の排水路の氾濫についてですが、国道下をくぐっている排水路の方が、九十度であるのですから、その排水路も原因方かに考えを持っています。

その改良等も含めて中部土木事務所と協議し、南部国道事務所との協議を経て、改良も要請していこうと土木事務所とは話をしています。又集水溝のふたの固定化とか県道三十五号線の排水流末にもなっているの、土木事務所と協議し今後の対策をとっていききたいと思っています。

地スベリ強化

議員 安里地スベリ地区緑化について今後の施策はどうなっているか。

村長 安里地スベリ地区の緑化は北上原、安里地区の土砂災害の復興のシンボルという形になる。この地域が花と緑でいっぱいになりますと、素晴らしい景観も望めて、これが中城村の復興のシンボルになればいいと期待しております。

他に第四次総合計画、中城村の教育問題、北上原小学校と下水道処理についての質問もありました。

コミュニティバス

仲 座 勇 議員



議員 事業計画、開始年度、通学バスの関係運行は。

企画課長 通学バス、交通弱者の部分を総体的に企画課、教育委員会、福祉関係等も含めての協議はこれからです。

村長 これから検討して、私の公約実現に向けて頑張っております。

区画整理事業

議員 一三年度の事業予定等はどうか。

都市建設課長 工事は九工区に分けて、琉大周辺の既成市街地を中心に坂田線の整備を予定してお

ります。二三年度は約五億円程度の事業費で進め、平成二四年度以降は年間七億円程度の事業費を組んでいけば平成二八年度で完了と思っております。

議員 二四年度完了予定年度(平成二八年度)迄の事業予定(計画書作成)は。

都市建設課長 五年分を

すぐ一遍に補償問題、物件補償とか地主の合意も得られず実施していくと、住民がトラブルを起こしかねない。前年度に公表する形をとらせて下さい。

議員 大体いつごろ我々の所はできるんだということを地主には知らせて欲しい。

北上原小学校(仮称)

議員 当初の建設予算と実行予算の差額はどのようになっているのか。

教育総務課長 説明会で概算的なものを申し上げた幼稚園建設との絡みはありません。

議員 既存の中城小、津覇小の幼稚園の廃止予定を伺います。

村長 予定はございません。

議員 計画でミス、失敗があつたと考えられますが対応、説明責任等を伺います。

村長 当初から小学校及び幼稚園を建設する予定で土地を購入し、設計した段階で幼稚園が建たなかったというのであればミスだったかもしれない。しかし、私が村長に就任したときには器は決まっております。優先順位を考えた。小学校の建設が第一で義務教育の小学校建設を急ぐ観点からスタートした。そこにはミス、失敗もないと自負している。

議員 部活では幼稚園と小学校は併設だということを基本的に思っています。

村営バス運行



新垣光栄 議員

議員 県公共交通活性化協議会等の機関及びバス事業者に対して、村内路線の改善提案を行ったことがあるか。

企画課長 要請は、おこなっていません。

議員 地域公共交通事業、コミュニティバスに関する提案に変えていく場合、準備はできているか。

村長 村営とか、委託で行きたいと思っています。

議員 通学バスの運行は、必要ないと思っているのか。

教育長 ぜひ通学バスを、コミュニティバスという形になるかもしれないが、存続させていきたい。

議員 企画部、教育委員会で、早々に協議会を立ち上げていく心構えがあるか。

村長 おっしゃる通りに、協議会を開いていくのは当然でありまして、まだきちんとした協議をしていませんので、平成二十三年度中には形がある程度つくりたい。平成二十五年四月の南上原小学校の開校に向けて、コミュニティバスも一緒に抱き合わせた形でやっていきたい。

自治会への支援

議員 地域力・生活の根源である自治会を村長は、どのように認識しているか。

村長 自治会の発展が我が村の発展につながるものと思っています。

議員 運営補助金とは。
総務課長 納税奨励金を

廃止します。急にそれを省くと自治会運営に支障をきたす事も含めて自治会運営補助金を設定しています。

議員 永久的な補助金でなければ、自治会運営に支障をきたすが。

総務課長 当分はやっていくという事でご理解願いたい。

議員 当分の間となると心配であります。村長、不安をなくするような答弁を。

村長 地域活性化のために費用をオシムつもりはありません。ご理解いただきたい。

議員 執行部の末端組織だと考えて、村で自治会の敷地を確保し、公民館も立派なものをつくって、保育園、幼稚園、老人デイサービスができる行政コストのかからない運営が将来、公民館で行われるぐらいの手厚い補助金を政策としてやって頂きたい。

中城村第四次総合計画



宮城重夫 議員

議員 平成二十四年から中城村第四次総合計画がスタートしますが村長の基本的な考えと、従来の考えを踏襲するのか、また村長独自の特色を盛り込む考えはないか伺います。

村長 人づくりに重点をおきたいと思っています。上地区の一部分を除いて、下地区においては人口の減少傾向にあるとの話もあります。その地区内の人をとどめる施策を展開して行きます。

企画課長 今回は村民から募集して村民会議を立ち上げて、その方々も交

えてどういう施策がいいか話し合い、素案に反映させたいと考えています。

議員 中城村内、集落内に住んでいながら自分の土地を求活用しようと思っても規制が厳しく、他の市町村に移住する方々が多いと聞いていますが現状の規制緩和は出来な

村長 行政懇談会で二字のほとんどの地域でその話がありました。中城村は規制のきびしい地域ですが、すべてを市街化

に向けてのではなく、ニーズに合った形でやっていきたいと思っています。住民の意思、私の意思と

しても第四次総合計画の中に盛り込んでいきたいと思っています。当然それにまつわる法的整備、その交渉事を一生懸命やっていきたいと思っています。

国土、村土の保全対策

議員 去年六月の定例議会で、二二年五月の集中豪雨での当間地区大川原

の地すべりに関連して、中城村土の保全、地すべり対策で、治水事業等の事業導入を県や、国に要請出来ないかと伺いました。村長も去年二回ほど東京に要請で上京したと記憶していますが、その後どうなったか伺います。

村長 予防工事を何とか国の予算でやってもらいたい。しかし工事費が数十億円もかかるし、その予防工事する為には調査が必要で、その調査費初年度分として四五〇〇万円が去年末に予算がつかまりました。

都市建設課長 沖縄県海岸防災課としても、当間地区を含め中城村内四箇所北中城村内の一地区を危険箇所として認識し県が総合事務局に要請し、目視等での踏査は完了しています。今後二、三年かけてボーリングによる土質調査、地形調査、測量等の諸調査後予防工事になると思います。他に東日本大震災関連で中城村防災対策の見直しの質問がありました。

村墓地条例

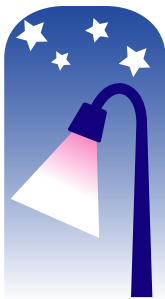


伊佐則勝議員

議員 ①平成二十二年三月に「中城村墓地基本計画」が策定され、本議会において「中城村墓地等の経営の許可等に関する条例」が議案として上程されています。本「条例」も村民需要を前提にしているか伺います。

②今後の、村民の墓地需要に應える「公営墓地の整備」計画について伺います。

村長 今回の権限委譲は、村の土地利用も含めて許認可に関する責任も生じます。本議会に提案させていただいた「墓地条例」を制定して、村民の需要に应运えていくことと、しっかりと責任を持って規制しながら秩序ある墓地政策を進めていき



村長 当然村益にかなない、村民の利益になるということであればやらせて頂きます。総合計画の位置づけの中でも、公営墓地も含め入ってくるものだとして認識しております。

たいと思います。

住民生活課長 まず村内の墓地の基数が調査時点で、個人墓と霊園を含め合計で四、〇〇〇基余あります。平成三十一年までの将来人口を推定しますと、墓地の需要が約三〇〇基必要になることが想定されます。個人墓地の需要もあり、墓地集積を図りながら村民の墓地需要に應えるためには、将来的には住民合意の上、公営墓地敷地を確保するなかで整備計画を立てるのが今後の課題だと考えております。

議員 将来、公営墓地が整備された場合に村民需要を優先すべきと思うがどうか。

また、第四次総合計画の策定を推進している中で、公営墓地の整備方針を位置づけすべきと思うが村長はどう考えるか。

光のあたる環境整備 議員 同じ行政区にありながら、自治会に加入できない新興住宅地があります。当該住宅地内には防犯灯の設置がされてなく同じ村民でありながら、光のあたらない地域が現にあります。そこで、実態調査の上、当該住宅地住民の要望に添うような行政対応ルールの緩和を求めるが如何か。

都市建設課長 昨年住民代表の方々が要請に訪れた際に、その地域の代表を選任して、電気料金の契約が可能な条件を整備できれば設置も可能だとのお話を申し上げました。そのような条件が整えられれば、当然設置を検討し暗闇をなくして安全を確保していくのが役場の義務だと思えます。

議員 少なくとも住民サービスの恩恵を受ける権利義務は同等です。地域コミュニティの声を活かし、住民目線に立った行政対応をすべく双方の着地点を見出して、タウン内の暗い夜道に明かりが灯るような環境整備を期待します。

他に河川整備についての質問もありました。

居住環境の整備



宮城治邦議員

と考えます。一日も早く問題の解決を。

中学校のプール及び図書館の設置

議員 プール設置の必要性とその計画はあるか。

教育長 必要な施設と認識しています。敷地の問題等をどうクリアするかが、今後の検討課題です。

教育総務課長 最優先課題であり、用地及び財政がネックになる。既存の校舎の耐久度調査等を行い、改築が可能な時期に国庫補助を導入し、施設整備をするか総合的に検討します。

議員 義務教育課程において、プールの授業は必須か。施設の不備は生徒の教育上どのような支障があるか。

教育総務主幹 中学校の学習指導要領に一年、二年は、すべての生徒が履修されることとなっている。三年は、選択科目です。水難事故防止、安全指導、救助法の指導は行っています。

保健体育の指導は身体づくり運動と体育理論、保健分野に分かれており、それらを通してバランスの良い発

議員 安心と安全は居住環境における最大のサービス

達が求められる。プールが無いことにより、水泳の指導ができない為に特に泳げない生徒の実技指導に關して支障をきたしている。

議員 村立図書館の設置を望む村民のニーズは高いと思うが、どのような認識をもっているか。

教育長 社会教育の面から必要な施設と認識している。単独でつくるか、他の公共施設と併設するかを含め、今後相談しながら実現をしたいと考えております。

議員 文化・振興や生涯学習の推進に寄与する為、宜野湾市と西原町、北中城村の協力を得て、図書館サービスの事業を実施していますが、どのような要項になっているか。

生涯学習課長 広域貸出事業協定書に基づき図書を出しています。貸出要項として、発行カードの枚数で宜野湾市百五十名、西原町百五十名、北中城村三百名の借入枠になっている。借り入れ条件は中城村民であることが確認できる証明書が必要です。

自然災害への 取り組み



新垣 徳正 議員

議員 土砂災害警戒区域指定について。

総務課長 土砂災害警戒区域については県によって既に地形や地質等の調査が行われており、

土砂災害が発生した場合に影響を及ぼす範囲を指定し、災害発生時いち早く避難でき、被害を最小限に抑えるというメリットがある。

議員 防災マップの現状は。

総務課長 平成十八年作成し各家庭へ配布し

である。現状としては、津波発生時における避難経路や避難場所の指定がないのでマップ自体見直す必要を感じている。それと本村に於いては自主防災組織というものがまだ確立されてなく、各地域で今後取り組みべき課題だと感じる。

村長 自然災害に関してはいろいろな対策を講じる必要があると思う。

あらゆるパターンを想定し避難訓練などを行いながら、地域住民の意識向上を図り特に役場職員のそれを、行政の責任に於いて確立していきたいと思う。

民生委員・児童委員

議員 その活動を村はどう認識するか。

福祉課長 民生員・児童委員と行政との連携は社会福祉の推進に欠かせないものであり、相互の情報交換をとり合い福祉行政に取り組

んでいるところだ。毎月定例会を持ち、各種の福祉制度、保健医療制度の研修などに努めています。今後も社協と連携しながら進めていきたい。

議員 活動に際して個人情報保護法との関係は。

総務課長 個人情報保護条例が出来て、個人の情報に関するものについては情報が出せないという事がありますが、

県内に於いて初めて那覇市が、災害時、自力避難の難しい高齢者や障がい者など、要支援者の名簿を要綱で定め策定し提示していく取り組みがなされているという事で、本村も調査、検討していきたいと思う。



戦略的な 採用



仲 眞 功 浩 議員

議員 職員採用計画の策定方法は。

総務課長 国の指針に基づく集中改革プランを策定し、平成十七年から五年間で職員の純減率五七％で目標達成したが、今後、県からの事務移譲、新規事業を視野に入れると職員確保策を検討する。

議員 その結果、本村は類似団体比較で二十三名少なく監査も指摘している。その数値は大きいと思うが。慢性的な人員不足の福祉サービス部門への対応は。

村長 足りないところは臨時または嘱託で対応する。不具合に対しては本年度採

用し増員した。一挙には無理かも知れないが、仕事状況を把握対応したい。

議員 退職者の補充分としての対応か、それとも戦略として将来的見通しを立てての採用か。現在、正職と臨時（嘱託・緊急雇用含む）が約半々で十分対応可能か。

村長 補充は当然で、専門職、技術職も含めサービス低下を招くことがないように適正に人員を配置していきたい。現在大きな支障は無いと思う。

人材育成・研修計画

議員 職員には高度情報化社会へ対応する専門知識、住民ニーズを満たす福祉サービスの充実等々の能力が要求されるが人材育成、研修計画は。

企画課長 そのニーズが高まり、行政サービスの簡素化、機密性の確保、執行能力向上、地域課題等の解決につながるものと考えている。

議員 職員研修実施計画に沿って県自治研修所、中部広域、政策形成、また独自にメンタルヘルス、男女共同参画社会研修等を行っている。

ワンストップサービスへの対応

議員 何回も窓口足を運びやっと手続きが完了した。そのような話は多く聞かれる。利便性向上につながるこのサービスは今もって構築されていないが。

総務課長 住民票、印鑑証明等々の交付諸手続きが電子化によって一ヶ所の総合窓口で行える。今後の検討課題と考える。

議員 選任の「係」が無いが、ソフト開発で業者の言いなりになる懸念は。

企画課長 電子行政に対応する職場環境づくりのためスキルアップをはかる。

議員 災害への対応や農林部、都市部という二極化へ対応できる人材を育成するためには疎大と包括連携に必要な人材を育てていく戦略的計画策定を要望する。

幼稚園舎の耐震性問題

議員 両幼稚園とも耐震の問題が指摘されてから久しくなるが。

教育長 当面は、園舎の補強修理で対応したい。

議員 問題は認識しているが、アクションが無い。子どもを安心して受け入れる施設なのか問われると思う。



学習支援 ボランティア

新垣博正 議員

議員 各学校への支援の現状と課題について伺います。

教育長 保護者や地域から申し出る方もいる。支援が必要と共通認識しているが活用方法で違いがあり、社協とも連携しながら充実させたい。

議員 中学校に発達障がい児への大学生支援ボランティアの導入を検討出来ないか。

教育総務課主幹 中学校はボランティアではなくベテランの教員を特別支援員一人、学習支援員(非常勤講師)二人が主に数学指導に当たっている。

幼稚園へは琉大の学生八名を配置。小、中学校へも配置を検討したが、お互いの時間割等で調整がつかず導入は今後の課題とする。

修学旅行生 民家宿泊事業

議員 六名の議員で先進地の伊江村観光協会へ民泊事業の成り立ちから受け入れ状況、課題や方向性、心構え等々多岐にわたり調査しました。本村でも取り組むようですが、支援方法を伺います。

企業・観光室長 村商工会が受け入れ民家を支援し、基本的には本土の高校生を対象に宿泊と家業体験学習とを合体させ琉球文化の衣食住や農業等の生活体験をさせる目的で実施している。当局は公共施設利用調整、資料の提供の支援をしている。

学校給食への 地産地消

議員 村長の施政方針にも示されているが早期に『地産地消推進協議会』を組織化する必要があると考えるが。

村長 今後積極的にコーディネート位置づけ協議会立ち上げに取り組む。

農林水産課長 給食センターの食材ニーズ、生産農家、関係機関と情報を共有し早期に立ち上げ朝市の開催も進めていきたい。

教育長 子ども達の給食に中城ご当地の食材が多く取り入れられ生産者の顔が見える安全で安心な給食へ関係課との協議会が出来る方向に進んでいきます。

耕作放棄地対策

議員 ①農地バンク制度の取り組み方法、②小規模農業でも可能かどうか。

③遊休地解消目標面積は。
村長 これまで農地バンクは情報収集を受身で行っていたが、貸し借りに行政が責任を持つて契約まで履行していく。

農林水産課長 十アール以上の耕作地を規準とし、土地改良区内の一・八ヘクタールを当面の目標として取り組みます。

コミュニティバスの 運行



安里ヨシ子 議員

議員 東陽バスの運行が廃止され上地区の住民は交通の不便と経済的に大きな負担を強いられてきました。医療費よりタクシー代が高つく、思うように外出もできない状況で何とかバスを走らせてほしい、村長の公約でもあり村民は期待していますがどのような対策を考えていますか。

村長 公約の実現に向けて頑張っていく。

ルート、ニーズを調査し運行にこぎつけた。企画課長 交通弱者、交通過疎地の対応について総合的に検討させていた。運営バス、福祉バスも含め調整に入りたい。

安心安全の街づくり

議員 南上原は高いビルが建ち並び以前のコミュニティ豊かな街は跡形もなく隣に誰が住んでいるのか、不審者がいても気がつかない、いろんな事件が発生し住民は大変な不安を感じています。以前に交番所の設置を要求してきましたが、その後どのような話し合いがなされたか。

住民課長 人口増加に伴いいろんな事件が発生している。防犯、治安維持、交通安全を推進するためにも交番所の設置は必要不可欠であり、宜野湾警察署へ要請を、引き続き行っ

ていきます。

議員 前回の質問の中で交番所は人口規模で厳しいとの答弁でした。現に子供達があぶない目にあっています。厳しければまずは早急に駐在所の設置を検討していただきたい。

交通安全・対策

議員 国道三二九号線泊バス停から老人センター向けの道路はS字形でなだらかな坂になっています。村道一七号泊教会線から国道三二九号線に出る時、右折左折とも街路樹が障害となり、見通しが悪く大変困っています。事故も多く調査が必要と思うが。

住民生活課長 非常に危険な箇所であり、道路の線形、構造、環境対策を含め国道事務所と相談していきたい。



農業振興



与那覇 朝 輝 議員

議員 施政方針に農業の省力化と農業構造の改善を推進するとありますが、具体的に何を行うか。

農林水産課長 NPO 亜熱帯バイオマス利用研究センターと一緒に気象変動の影響を受けない植物工場の試験的な導入を計画している。

議員 ナスミバエ防除についてはどのようなことを予定しているか。

農林水産課長 県の補助のもと分布調査や被害状況調査を行う。また、

J Aの部会と協力して防除対策も広報などで積極的に呼びかけ普及啓発を計りたい。

議員 耕作放棄地対策は。

農林水産課長 農地集積円滑化事業の実施団体になっており、農家一戸一戸に意向調査を行い貸し手を掘り起こし耕作放棄地対策を積極的に取り組んでいきたい。

村長 今までの農地バンク制度は受動的な対応になっていたが、今回は行政が積極的に関与し推進していきたい。

議員 優良田園住宅の整備については。

農林水産課長 一定の要件を満たせば、市街化調整区域でも住宅が建てられる制度であり、六月の条例制定に向けて取り組んでいる。

庁舎建設

議員 新旧庁舎とも全体的に劣化しており、防災診断等を行う必要はないか。

総務課長 コンサルによる正式な調査は行っていない。村独自で毎年チェックをして部分補修で対応している。

議員 国道側からの庁舎はいかに貧弱である。

副村長 一応検討はしたが耐用年数等を考え取りやめになった。

議員 民間資金を活用して、庁舎等公共施設を建設する法律（PFI事業）が施行されているが検討する考えはないか。

総務課長 公用施設を建設する場合、従来の公共事業方式とPFI事業方式がある建設基金がほとんどない現時点で公共事業方式は非常に厳しい。PFI事業方式も含め庁舎検討委員会ですらに調査・研究していきたい。

他に県営中城公園整備についての質問もありました。

生活環境の整備



新 垣 健 二 議員

議員 津覇の行政懇談会の中で、新興住宅地グレイスタウン裏の排水路の水はけが悪く悪臭があり改善の要望があったと思いますが、どのように検討したか。また、昭和興業横の里道についてもどのような対処方法を考えているのか。

都市建設課長 悪臭問題については、平成二十三年に浚渫の計画をしている。里道整備については、地域の協力を得て、資材提供等を考えながら里道が活用できるようにしたい。また、そこは生活排水も

流れているので、整備していきたい。

防災対策

議員 災害時、自力で避難できない高齢者や障害のある方々への支援対策はできているのか、またそういった方々を防災担当も把握はしているのか。

総務課長 要綱等を作成して那覇市がすでに先進地としてありますので、その辺の調査研究をしながら要支援対策を検討していきたい。

議員 災害が起こった場合、大量の水、食糧などが必要になるとありますが、中城にはサンエー、ユニオンなどの大手のスーパー、コココーラの営業所等もあり、そういった所と災害時における供給契約は結ばれているのか。

総務課長 コカコーラとは協定を結んでおります。サンエー、ユニオンとは現在結ばれておりません。

議員 自主防災組織の体制づくりはどのように進めているのか。

総務課長 自主防災は地域住民が自主的に防災活

動を行う地域単位で組織するものであり、これからの防災行政には欠かせないものであり、平成二十三年度から本格的に各自治会と協議、調整しながら組織づくりを進めていきたい。

議員 津覇一三九三番地裏の山手の土砂崩れ対策も抜本的な対策が必要かと思いますが、県とどのような協議がなされているのか。

都市建設課長 県と取り組んでいる。新年度の実施設計に向けて、予算が認められれば、事業化に向けて区域の指定同意を地元と協力をいたいただくことになると思います。

議員 区域の指定範囲は。

都市建設課長 番地的にいうと一三九六から一七〇番地あたりまでの土地になると思います。
議員 区域内は住宅は築れないと言われていますが、
都市建設課長 構造計算とか、いろいろ厳しくはなりますが、全くダメだということはありません。

平成二十三年 度 施政方針

仲 村 春 光 議員



議員 南上原土地地区画整理事業の保留地処分業務を沖縄県宅建業協会と業務提携する件について提携内容を伺います。

村長 県内で初めてとなる、自治体との契約になります。宅建業協会にすべてを任せるのではなく、情報の広域化として宅建業協会がもっているノウハウ、情報をフルに活用させる趣旨であります。

議員 手数料百五十万円を予算計上してあるが、宅建業協会の販売効果は、都市建設課長 事業資金計画で四億円から五億円

の金があれば平成二十八年度までに完了できないので協会が扱う分は一億円程度を希望します。

農林水産業の振興

議員 村民が生産する農産物などを学校給食や、地域で消費される「地産地消」の取り組みはどう考えているか。

村長 地産地消は行政がコーディネートして、農林水産課と給食センターを結び形を積極的に携わると言うのが大切だと思っている。生産農家が地産地消において供給の充実感とかあるいは利益にもつながっていき、後にはビジネスにもなり得るんだと分かっている。頂きたいため一生懸命取り組んでいきたい。

農林水産課長兼農業委員会事務局 学校給食への地産地消に向けて推進協議会の立ち上げ後、どう言うふうに対応していくか。学校給食に生かすことが大切か今後農家の方々への栽培指導等を検討して地産地消がスムーズに推進できるようにやっていきたい。

生活環境の整備

議員 本年度の道路、河川、排水路の整備計画を伺います。

都市建設課長 整備は年次の進めて。新規事業一件、継続事業一件、地域活性化、きめ細かな臨時交付金事業四件ほどあります。地域活性化事業を活用し、南上原の公園整備と北上原地内の河川整備をやっていきます。

議員 災害は予測することから村民の生命、財産を守るための防災対策は。

防災対策

村長 今回の東日本大震災は地震と津波でした。そのようなパターンで幾つかの想定をしながらどう言う防災組織をつくっていくかと言うのは急務になると思います。中城村においては土砂災害に対する認識も大事なことであり、積極的に組織体制の強化を図って行きたい。

職員の資質向上策と 規律

新 垣 善 功 議員



村のビジョン

議員 村長はこれまで職員の指導教育はどの様に行ってきたか、また、将来どの様な村にしたいのか伺います。

村長 職員の資質向上は、総務課長から答えさせます。村のビジョンについては子育て支援を含め、安心、安全な村を目指します。

総務課長 県の自治研修所、中部広域市町村会、独自の研修会を通して行っております。

議員 職員は村のリーダーであり、職員の頑張り様によって村の発展は左右されていると言っても過言ではないと思います。

今後職員の指導教育を強化すべきではないかと思いますが、村長の考えを伺います。

村長 今後、職員研修の機会を増やしていきたいと思っています。

議員 職員の資質向上するには、信賞必罰で臨んでいくべきと考えております。村民は税金の滞納したら過料（罰金）を支払い責任を取らないのは、職員はミスしても何の責任も取らないのでは、今議会の議案第十九号吉の浦運動公園陸上競技場改修工事契約は議会を無視したものである。その責任は誰が取るのか。

村長 この件は当局の手続きミスであり、今後その様なことの無い様にします。深く反省しております。

議員 勤務判定を導入していく考えはないですか。

村長 議員がおっしゃる気持ちばかりです。今後検討させていただきます。

議員 これまでは昇任させる時は、年功序列で行ってきっていますが、今後、昇任試験制度を導入する考えはないですか。それによって、職員の自己啓発につながり資質の向上にもなっていくと思いたす。

村長 今のところ考えておりません。

議員 最後に確認しますが、今回の議案十九号の件については責任は取るのか、取らないのか伺います。

村長 議案十九号については、取りませんが、今後は法律や規律に照らし合わせての処分になると思います。しっかりと責任を取っていきます。

議員 津覇から和宇慶に入る旧県道から北浜に至る道路沿いの、通称饒波川について、上流から土砂が堆積し、梅雨時期や台風、大雨のとき、氾濫して畑や農作物、花卉などに被害を及ぼす可能性があるとされますが、村当局はどのように考えているか伺います。

都市建設課長 現場確認をして、土砂がたまっているようであれば、次年度の維持管理費で浚渫ができるように努力し、氾濫を防止したい。

議員 早目に手を打って

河川の管理状況

仲宗根

哲 議員



村民が安心して農作物をつくれるようにやっていただきたいと思っています。

護岸工事の進捗

議員 津覇から護岸工事が行われていますが、いつごろまでに北浜地内に来るのか伺います。

農林水産課長兼農業委員会事務局長 県の中中部農林土木事務所で実際工事をしていきますが、工事の進捗で海に埋没している土地があるということので地権者の同意を得なくていい場所に変更して進めながら、来年までに、その工事を一応終了したいということなんです。饒波川の流末については、護岸整備は国交省の所管で、その成り行きによって農水省に移行される可能性があり、その部分も含めて公民館の下まで護岸の整備は、県のほうでも計画をしていきたいという話もあり、もうしばらくかかると思いますが、認識をしていただきたいと思う。



身近な美味しさを**給食**に

地域でとれた農作物は地域で消費しよう!

～地産地消から学ぶ学校給食～

文教社会常任委員会 所管事務調査報告

安い輸入品の流入で価格競争に迫られ、生産者と消費者の距離が遠くなりつつある昨今、食品の偽装事件や食中毒などの事故が後を絶たない。そのような中において食への安全に対する関心が高まっています。地元で生産された農産物が納入される仕組みをいち早く取り入れた北中城村学校給食調理場へ視察学習に行きました。

50名の生産者会員が作る農産物41品目を「**地産地消**」推進5年目で一千万円の使用実績に迫っています。本村でもそのシステムに学び地元の農産物を使用できる仕組みを議会からも後押しします。



島にんじん生産者の
▲安里雄徳さん(和宇慶)

生産者の顔が見える安心・安全な食材を提供できる仕組みづくりを。

ガスクを活用した村づくり

平成23年3月3日(木) 議会委員会室

世界遺産“中城城跡”をどのように活用するか。護佐丸時代と城の築城技術、その後、子孫が残した系図などの記録が物語るもの。ナゾがまだ解き明かされてない。

興味深い話の数々を聞く機会になりました。

首里城復元にも深く関わった経験を交え
講話する高良倉吉教授(琉球大学)



地域に根ざす

さまざまな産業を視察

平成23年2月25日(火) 新たな企業の可能性を見出すために、村内外で活躍する企業や話題の事業所などを視察しました。

(株)沖縄ホームル



塩に含まれるミネラル成分世界一のギネス認定で話題となった独自の製法で注目される「ぬちまーす」の工場
(うるま市 宮城島)

株式会社 ぬちまーす



中部ファーマーズマーケット



生産者が価格を自分で決めて売り場へ並べる。
消費者にも購入の選択幅が広がる。(沖縄市 登川)

農業生産法人 はごろも牧場



常任委員会

のはたす役割とは。

平成23年5月10日(火) 自治会館ホール
講師：石垣 安秀 県町村議会議長会事務局局長

議会は閉会中においても各常任委員会は地域にアンテナをはり、所管する事務や現場を調査する役割を担っている。他県の町村議会の事例を紹介しながら、地域課題の解決策を学びました。

New Face 議会事務局職員の紹介



議事係長
比嘉 保

4月の定例人事で議事係長の新垣修が公園管理事務所主幹へ昇格異動となり、その後任として、総務課から議会事務局へ配置になりました。

編集後記

村民の皆様、いかがお過ごしでしょうか。日ごろより議会と村政へ感心をお寄せいただき感謝申し上げます。
今年は、例年よりも早く梅雨入りしました。すっきりしない天気が続いていますが、この『ぎかいだより』がお手元に届く頃には、沖縄も「若夏」の季節を迎え過ぎやすくなっていることと思います。三月定例議会を中心に記事を編集しました。ご一読ください。

三月十一日の定例議会開会中に東日本大震災が起き、議員一同も一般質問の冒頭に震災で犠牲になられた皆様へ哀悼の意を表し、被災地の一日も早い復興を祈りました。想像を絶する災害に皆様も身震いするほどの驚きを感じたと思います。これまでの想定した災害をはるかに上回り、本村においても防災対策の見直しの必要性を強く感じさせられました。地域においても住民相互の連携による対策を講じていかなければならないものと考えます。
一人ひとり思いをひとつに共に知恵を出し、取り組んでいきたいと思います。

議会だより編集委員
新垣博正 新垣徳正 新垣光栄 伊佐則勝 仲真功浩 金城章
(金城 章)

題字募集!

「ぎかいだより」

の題字の募集をします

(ぎかいだよりの文字を横書きと縦書き)

中城村の児童・生徒のみなさん、上手いも下手も関係ありません! あなたの字のままでいいんです
お問い合わせは中城村議会事務局(☎895-4318)まで